

令和5年度

仙台市国民健康保険事業特別会計

予算案(概要)について

1 令和5年度予算編成について

(1) 被保険者数・世帯数

近年の推移から被保険者数、世帯数ともに減少する見込みである。

(2) 歳出

・保険給付費

被保険者が減少傾向の一方、一人当たり医療費は増加傾向となっており、令和5年度は医療費全体としては、令和4年度当初予算に対し増加する見込みである。

・国民健康保険事業費納付金

県は、県内各市町村の保険給付に要する費用、後期高齢者支援金、介護納付金等を支出することとなっており、県内各市町村はその財源として国民健康保険事業費納付金を県に納付する。当初予算編成においては、県から示されている納付金額を歳出予算として計上している。なお、令和5年度は、一人当たり医療費の増加等から、国民健康保険事業費納付金は前年度と比較して大幅に増加する見込みである。

(参考: 国民健康保険事業費納付金の年度間比較)

	国民健康保険事業費納付金
令和4年度(本算定ベース)	24,330,421千円
令和5年度(本算定ベース)	25,838,479千円
差 引	1,508,058千円

(3) 歳入

・国民健康保険料

事業費納付金の大幅な増加に伴い、保険料収入額が増加する見込みである。

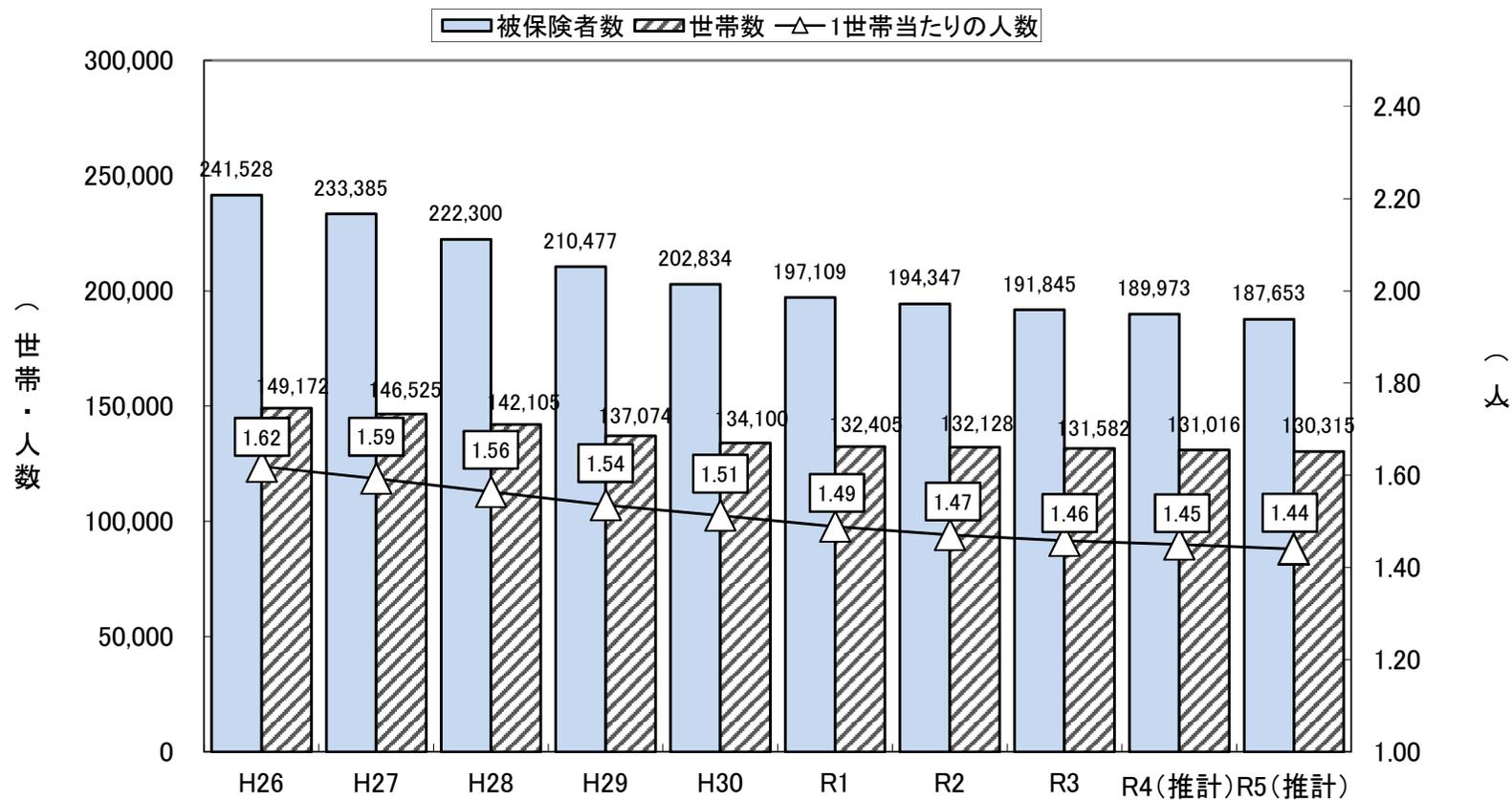
・基金繰入金

保険料の急上昇を抑えるため、事業費納付金に財政調整基金を充当することから、基金取崩額が増加する見込みである。

・一般会計繰入金

保険料軽減者数の増加に伴い、軽減に伴う保険料負担を補填するための一般会計からの財政支援が増加する見込みである。

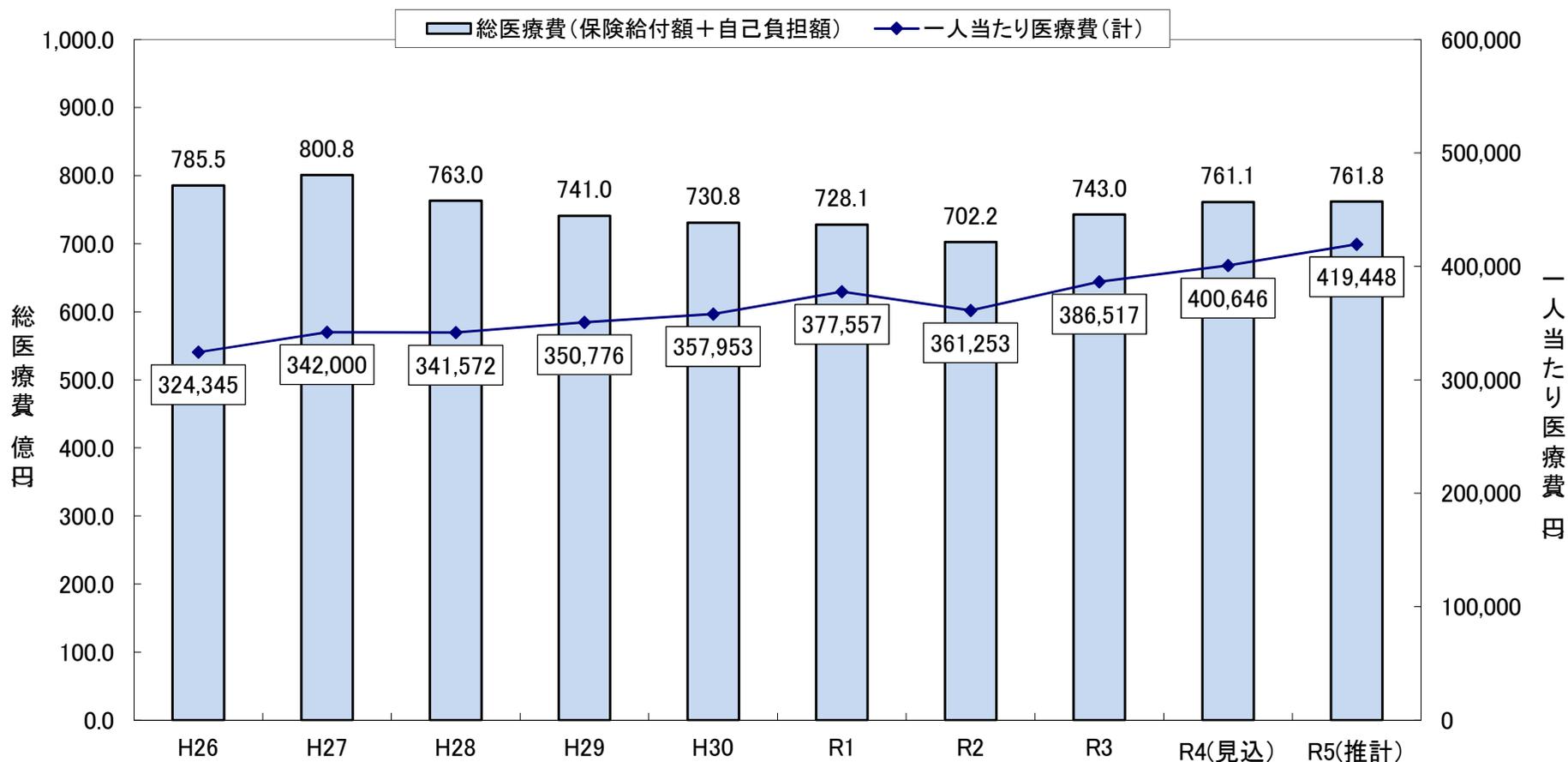
2 被保険者数・世帯数の推移



注1) H26～R3は各年度の4月～翌3月平均。R4は4月～12月平均。R5は実績を元にした見込み。

注2) 一般被保険者＋退職被保険者

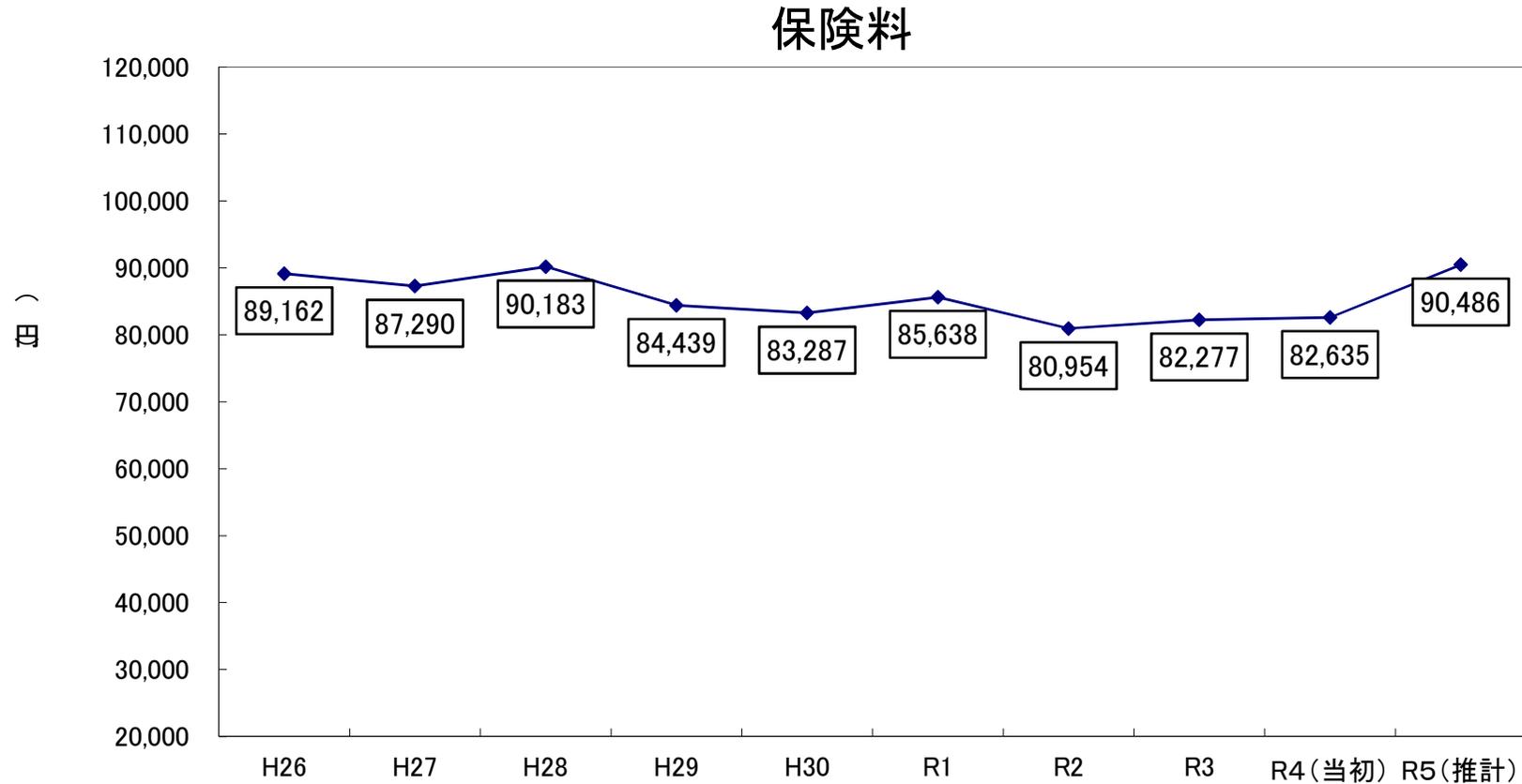
3 医療費の推移



注1) 総医療費は、H25～R3は各年度の実績。R4は当初の見込。R5は推計。

注2) 1人当たりの医療費は、一般被保険者+退職被保険者により算出。

4 被保険者一人当たりの保険料の推移（介護分除く）



注1) H25～R3は各年度の実績。R4は当初の見込み。R5は宮城県への納付金と被保険者数見込みを元にした推計。

注2) 保険料＝医療分＋支援分(40～64歳の被保険者については、これに加えて介護分の保険料が賦課される)

5 国民健康保険事業財政調整基金の活用状況

① 震災以降交付された国の特別調整交付金に係る取崩し

R5取崩額 **105,128千円**

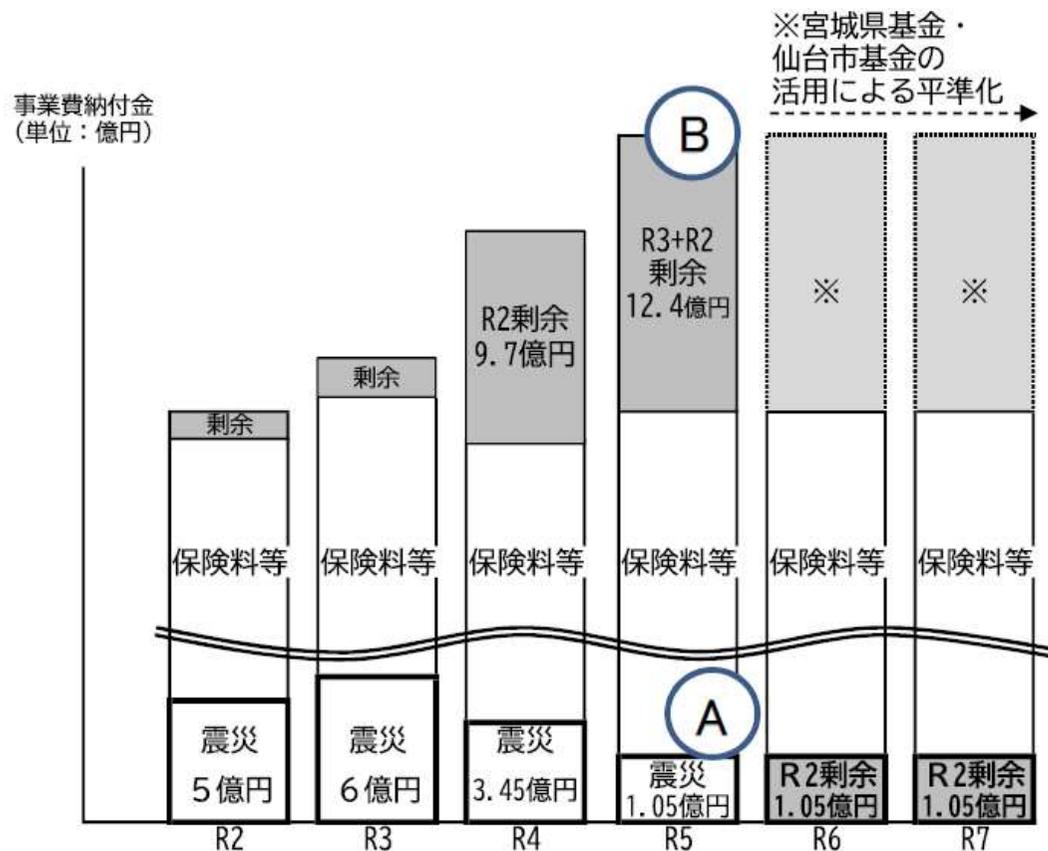
震災以降交付された国の特別調整交付金に係る剰余金による積立分の残額(約1億円)については、令和5年度に取り崩しを完了する。

② その他前年度剰余金に係る取崩し

R5取崩額 **1,238,194千円**

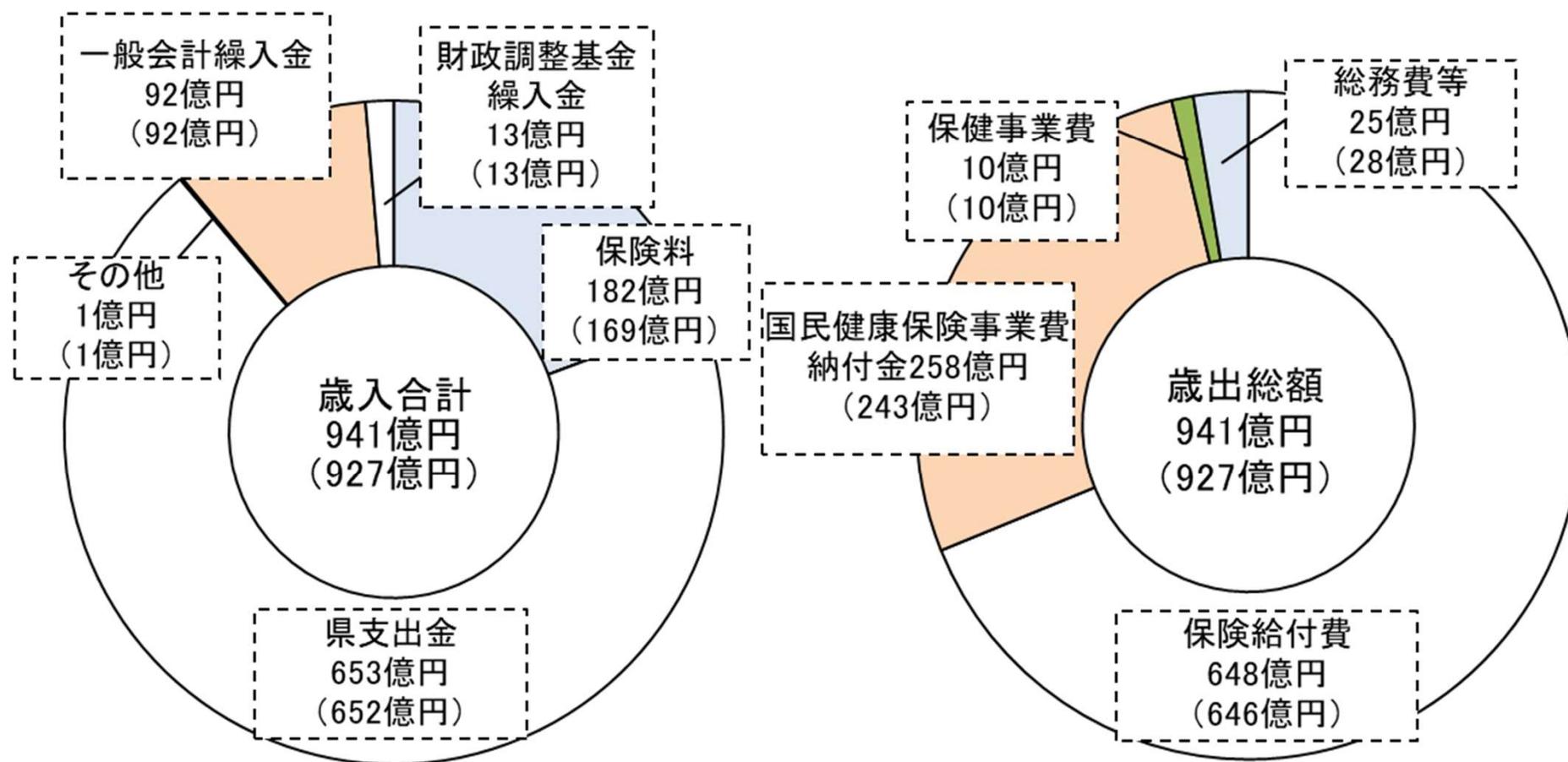
その他の要因による剰余金については、原則として、県から示される国民健康保険事業費納付金の水準等を勘案しながら、翌々年度以降において取崩しを行う。

今回、令和3年度決算で生じた剰余金から基金に積み立てた約9.8億円に加えて、①の完了に備えて留保し、令和6年度以降に取り崩す予定としていた令和2年度剰余金の残約4.7億円のうち2.6億円を前倒しで取崩すことによって、納付金の大幅増によって生じる一人当たり保険料の急増を抑制する。



令和5年度当初予算における取崩額 ①+② = **1,343,322千円**

6 令和5年度 国民健康保険事業特別会計予算案



注)各項目の()内の数値はR4年度当初予算額